

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

## ②施設・事業所情報

名称：	ヨコハマみらい保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 渋谷 栄美	定員（利用人数）：	70（83）名	
所在地：	235-0016 神奈川県横浜市磯子区磯子3-3-21 江戸徳ビル4F			
TEL：	045-750-1710	ホームページ：	<a href="http://miraiyokohama.jp/yokohama/">http://miraiyokohama.jp/yokohama/</a>	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2016年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人みらい			
職員数	常勤職員：	15名	非常勤職員：	6名
専門職員	保育士	21名	栄養士	4名
	看護師	0名	調理員	0名
	用務員	0名		
施設・設備の概要	居室数	保育室 6室、給食室、調乳室、ランチルーム、沐浴室、事務室、ホール	設備等	テラス、ベビーカー置き場、エレベーター

## ③理念・基本方針

<保育理念>  
「愛をたくさん生み出せるひとになってほしい」  
そんな願いを込めて、ご家庭の皆様とヨコハマみらい保育園のスタッフが協力し、  
「愛を生み出せる子どもたち」をたくさん育てていきたいと思ひます。

<保育方針>  
・園児ひとりひとりの個性を尊重し、いつくしみ、園児たちが安心し、くつろいだ雰囲気の中で楽しく過ごせる。  
・人種、国籍、障害の有無を問わず、誰とでも楽しく遊べ、遊びの中から相手に対する優しさや思いやりの心を持てる。  
・ひとりひとりの個性と自主性を発揮し、自らの意思や表現を自由に発揮できる自由保育。

④施設・事業所の特徴的な取組

当園は2016年4月開園の比較的新しい保育園で、JR根岸線磯子駅近くにある5階建ビルの4階にあります。建設省の「手づくり故郷賞」を受賞した磯子アベニューに面して立地しています。子どもたちは電車や海を窓越しから見るすることができます。園舎はワンフロアで、バルコニーに人工芝を敷いて園庭として使い、三輪車などの遊具も置いてあります。各保育室はパーティションでくぎっていますが、十分な採光を取り入れられるよう配置が工夫されており、明るく清潔で開放的な空間になっています。子どもが隣のクラスに遊びに行くなど、異年齢交流も自然な形で行われています。フロアの真ん中に多目的ホールがあり、天気が悪い日でも、子どもたちは自由遊びや体操などで体を動かしています。玄関にお散歩マップが掲示され、天気の良い日は「お日様の下ですごしましょう」をモットーに、毎日近隣の公園に散歩に出かけ、体を思い切り動かして丈夫な体づくりに勤めています。また、公園では、空の色や高さ、雲の形を見たり、季節の移ろいを五感で感じるなど、感性をはぐくんではいます。年齢に合わせ、リトミック、リズム体操、月の歌、マット運動や鉄棒、跳び箱などの運動遊びで体づくりに力を入れています。今はコロナ禍の制約で縮小していますが、例年は親子遠足や七夕、盆踊り、運動会、ハロウィン、クリスマス会、節分など、四季折々の行事を行い保護者から歓迎されています。また、毎日提供されるおいしい給食やおやつは、こだわり・手作りで提供されます。発達に合わせ、主体性を尊重した保育を行い、子どもたちはのびのびと園生活を楽しんでいきます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月30日（契約日）～ 2023年1月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆保護者との信頼関係の中で、明るく家庭的な雰囲気ですべてを進めています。

「温かい雰囲気の中で、みんなで温かく育てる」をモットーに、卒園後も「いつでも戻って来られる保育園」を目指して保育を進めています。管理職は園内で仕事が完結できるよう、効率的な業務方法を工夫し、職員は仕事と個人の生活の両立ができ心身共に健康で明るく、保護者や子どもに丁寧な接し方で、家庭的な雰囲気を醸し出しています。全職員が同じフロアにいるため、ほかのクラスの子どもの事も知ることができ、対応しています。子ども同士もシーツ交換や着替えの手伝いなど、自然な形で助け合い異年齢交流が生まれています。利用者調査からも保育者の対応に対し安心感もてる、話しやすいなど、とても高い評価を得ています。

◆コロナ禍でも充実した園内研修で職員の資質向上に取り組んでいます

職員の保育知識・技術の向上による園の保育の質の向上を目指し、計画的に園内研修を行っています。研修は主任が中心になり、リーダー会議でテーマを決め、毎月全職員を対象に行っています。同じテーマの研修は3～4回行い、全員が受講できるよう配慮しています。テーマは職員からの提案を積極的に取り入れ、保育所保育指針、感染症、虐待防止、ヒヤリハット、アレルギー食の提供方法など、さまざまなテーマで行っています。職員の自己評価である自己チェックリストの項目と関連づけ、職員が能動的に取り組むことで、園の保育の資質向上につながっています。この取り組みはコロナ禍で外部研修の制約がある中で、その重要性が高まっています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度お忙しい中、保護者の皆様にはアンケートにご協力いただきまして感謝申し上げます。  
アンケート結果では、保護者の皆様の率直なご意見を聞かせていただき今後の保育へ反映できるよう努力していきたいと思ひます。また、日々保育を行っている職員が「これからも保育を頑張ろう、頑張っただけよかった」と感じられるご意見もたくさんいただき保育士の励みにもつながりました。ありがとうございます。

子どもたちが、毎日楽しく安全に過ごせることはもちろんのこと保護者の皆様にも安心してお仕事へ向かえる保育園づくりを今後も行っていきたいと思ひます。

また、福祉サービス第三者評価機関の調査委員の皆様には、とても丁寧な対応・審査をしていただき評価していただきましたことを感謝いたします。

子ども達、保護者の皆様そして職員が「第二の我が家」と感じられる保育園を目指しながら楽しく保育運営を行っていきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり